

JAPANESE SOCIETY FOR INTERNATIONAL NURSING

(JSIN)

国際看護研究会 第19回学術集会 抄録集
(第79回国際看護研究会)

国際看護活動を担う人材の育成—地球的視野を育む—

会 長 : 河原 宣子 (京都橘大学看護学部)
日 時 : 2016年11月26日(土) 10:00~16:30
会 場 : 京都国際交流会館
(京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1)
総 会 : イベントホール (13:00~13:40)



国際看護研究会第19回学術集会事務局
〒607-8175 京都市山科区大宅山田町34
京都橘大学 看護学部内
TEL: 075-574-4271
E-mail : kokusai19@tachibana-u.ac.jp

ごあいさつ

国際看護研究会第 19 回学術集会の開催にあたって

国際看護研究会第 19 回学術集会
会長 河原 宣子(京都橘大学看護学部)

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より、国際看護研究会の活動に、ご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、国際看護研究会では、国際看護に関する研究を発表し知識を深め、また、国際看護に関心を持つ方々の交流をはかることを目的とし、1998 年より毎年学術集会を開催しております。

今年度は、『地球的視野を育む教育を考える』をテーマといたしました。

地球を意味する globe がもとになっている globalization やグローバル化という言葉は、国内外の様々な分野や場面で使用され、今日に至ってはインターネット等情報通信網の普及によりますます加速していると言われております。一方で、環境や固有の文化を重視する反グローバリズムの主張などもあり、現在の「地球規模」が現す内容はますます多様化してきたと考えます。

人々の多様な価値観を認め、文化・社会的背景を考慮しながら看護を実践している私たちにとっては、地球規模での視野をも各自が備え、国際協力等の現場で活用していく必要があるのではないかと思います。

そこで、第 19 回学術集会では、看護基礎教育のカリキュラムにおいて、地球的視野を育む内容をどのように散りばめていくか、そして、地球規模で国内外における人々の多様なニーズに応える人材をいかにして育てるか、という議論を皆様と行いたいと存じます。

また、1996 年に保健師助産師看護師養成所指定規則に「国際社会において、広い視野に基づき、看護師として諸外国との協力を考える内容」と明記されてから約 20 年が経過いたしました。多くの看護職養成機関で国際看護の知名度は上がり、教育内容も拡充してきたと思います。しかし、その一方で、どのようにカリキュラムに位置づけたらよいかわからないといった声も教育現場から聞こえてきます。そこでシンポジウムでは「国際看護を学ぶ～授業づくりのヒント～」をテーマに、看護系大学や専門学校等における様々な工夫や苦労話等をご発表いただき、皆様と一緒に、より具体的に地球的視野を育む教育を考えたいと思います。

平成 28 年 11 月 26 日

<プログラム>

【第1会場 イベントホール】

10:00～10:05 開会のあいさつ（国際看護研究会会長：森 淑江）

10:05～10:30 基調講演 座長：森 淑江（群馬大学大学院）

「地球的視野を育む教育を考える」

第19回学術集会会長 河原 宣子（京都橘大学看護学部）

10:35～11:05 特別講演 座長：河原 宣子（京都橘大学）

「国際看護のこれから」

前原 澄子

（京都橘大学名誉教授・元三重県立看護大学長）

11:10～12:10 一般演題 口演 第1群 座長：常田 裕子（京都橘大学）

- 1 インドネシア人看護師の帰国の過程に影響を与えた要因
石井 千晴（足利工業大学）
 - 2 途上国におけるバースコントロールの実態
森 久美子（明治国際医療大学）
 - 3 The impact of basic conditioning factors for self-care adherence among Sri Lankan adolescents with Type 1 Diabetes Mellitus
A.M.S. Deepanie Pathirana / Yoshie Mori
(University of Peradeniya / 群馬大学大学院保健学研究科)
 - 4 新人医療コーディネーターのOJT経験を活用した初期研修プログラム開発の試み
高畑 華子（国立国際医療研究センター病院）
-

12:10～13:00 昼食・休憩
13:00～13:40 2016年度 国際看護研究会総会 (会員参加)

13:40～14:55 **シンポジウム「国際看護を学ぶ～授業づくりのヒント～」**
座長：竹下 夏美 (京都橘大学)

シンポジスト

森 淑江 (群馬大学大学院保健学研究科教授)

山田 智恵里 (福島県立医科大学大学院 保健看護学コース 国際被ばく公衆衛生看護学教授)

マルティネス 真喜子 (京都橘大学看護学部専任講師・滋賀県立堅田看護専門学校非常勤講師)

15:00～15:45 **一般演題 口演 第2群**
座長：穴吹 浩子 (京都第二赤十字病院)

- 1 カナダの社会福祉ボランティア 多言語の国で学んだこと
出口 晏子 (聖泉大学看護学部看護学科)
- 2 Current situations and prospects for future in Nepal Nursing Education
宮本 圭 (国際医療福祉大学成田看護学部)
- 3 シニアボランティアとしての国際協力活動 ミクロネシア短期大学での看護教育
宮井 美津子 (シニアボランティア 25年度3次隊 ミクロネシア 看護師)

【特別会議室】

15:55～16:25 **一般演題 ポスター**

- 1 看護系大学における国際交流の教育効果-タイ国 マハサラカム大学との交流を通じて-
大植 崇 (兵庫大学健康科学部看護学科)
- 2 ベトナムでの総合実習の学びから得た国際協力への考え
松永 早苗 (宮城大学看護学部)
- 3 異文化看護を経験する参加型の国際看護学Ⅱ(海外研修)
金井 優子 (公立大学法人名桜大学人間健康学部看護学科)

-
- 4 在留外国人への健康支援を学ぶ総合実習
金井 優子 (公立大学法人名桜大学人間健康学部看護学科)
 - 5 海外研修に参加した看護学生の学び—文献検討—
黒川 友美子 (京都第二赤十字病院)
 - 6 インドネシアブナケン島におけるプライマリ・ヘルス・ケアの研究
橋本真由美 (神奈川工科大学看護学部看護学科)
 - 7 フィリピンの医療施設で出産した女性の出産満足度に影響を及ぼす社会環境要因の検討—安全性の確保と満足度の高い出産の両立に向けて—
上村いずみ (帝京大学大学院公衆衛生学研究科)
 - 8 外国人患者受入れのためのサービスの向上
外国人患者受入れ医療機関認証制度(JMIP)の効果:未認証病院との比較調査
原 あかね (帝京大学大学院公衆衛生学研究科)
 - 9 国際医療活動における異文化コミュニケーションの課題
尾立 篤子 (防衛医科大学校 医学教育部 看護学科)
 - 10 インドネシアに廃品回収業を営む貧困層 の学校における健康支援活動
中島麻紀 (千葉大学大学院)
 - 11 フィリピンの思春期性感染症予防教育の普及
～ムンティンルパ市保健センターと高校の STI 予防教育の検討～
田中 祐子 (徳島大学大学院医歯薬学研究部 保健科学部門学校保健学分野)

【第1会議室】

15:00～16:10

JOCV OV 交流企画

「看護師隊員 OV カフェ～話そう！活かそう！つながろう！～」

担当：マルティネス 真喜子 (京都橘大学)

16:25～16:30 閉会のあいさつ